

「ご存じですか？」

「黒星病」は、落葉で冬を越す。



葉の黒星病被害



果実の黒星病被害



- 落葉に散布することで、黒星病の菌密度を大幅に低減。
- りんごの冬眠期・発芽前の散布で、優れた殺虫・殺菌力。
- カイガラムシ類、ハダニ類、越冬病害虫を幅広くカバー。
- 有機JAS規格(有機農産物の日本農林規格)に適合。

# 宮内 石灰硫黄合剤

◎りんご黒星病への使用方法に、「落葉に散布」が加わりました!



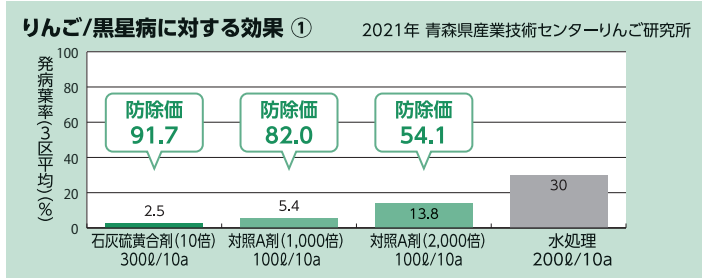
宮内硫黄合剤株式会社  
Miyuchi Iou Gozai, Co., Ltd.

# 越冬病害虫防除の100年ロングセラー剤!

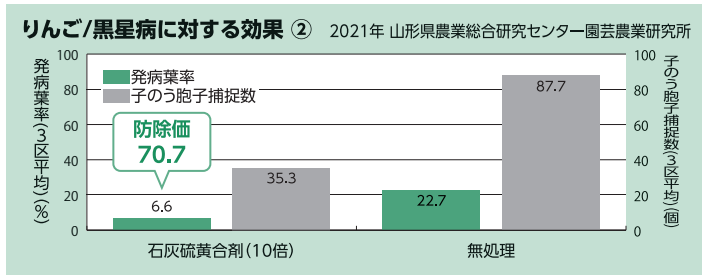
## 宮内 石灰硫黄合剤

- 農林水産省登録:第4140号
- 有効成分:多硫化カルシウム……27.5% (全硫化態硫黄……22.0%)
- 人畜毒性:普通物\* \*毒物及び劇物に該当しないものを指している
- 有効年限:5年
- 包装(1ケース):18ℓバッグインボックス入り、10ℓバッグインボックス入り

### 試験成績



調査方法:2020年10月下旬に多発圃場から採集した黒星病の被害葉を11月8日に各区生体重で約390gずつ、90cm四方の枠に敷き詰め、風で飛ばさないよう上から金網で固定し、越冬させ、これを伝染源とした。なお、外からの飛び込みを防ぐため、消雪後に固定した被害葉の周囲を高さ1.5mの板で囲い、この中に供試樹を設置した。越冬させた前年の被害葉に供試薬剤を処理し、その上にポット樹を設置して発病状況を調査した。



調査方法:2020年12月に採集した発病葉を木枠内に全面に敷き詰め感染・発病を促した。供試ポットは二次感染による発病を防止するため、暴露期間終了後にハウス内で管理した。越冬させた前年の被害葉に供試薬剤を処理し、その上にポット樹を設置して発病状況を調査した。

### 注意点

- 0℃以下での保管は避けてください。
- ご使用前に必ず「使用上の注意」をお読みください。

### 効果・薬害等の注意

- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除等関係機関の指導を受ける事が望ましいです。
- りんご腐らん病への休眠期散布は、秋季根雪前および春季発芽前に枝幹が十分ぬれるように行ってください。《胴洗、黒木消毒》 散布適期は地域により異なるので防除基準に従い、病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。
- 着着剤を加用し、調製液は速やかに使用してください。
- 混用、散布間隔については次の注意を守ってください。
  - ・強アルカリ性なので分解し易い薬剤《有機りん剤等》との混用はしないでください。
  - ・強アルカリ性の薬剤《ボルドー液》、および銅製剤やマシン油乳剤との混用もさけてください。《薬害》
  - ・ボルドー液散布後、本剤の使用は2~3週間以上の間隔をとってください。《薬害》
  - ・マシン油乳剤散布後では、本剤の使用まで1ヶ月以上間隔をとってください。《附着性劣化・効

#### 果減退

- 青酸ガスく蒸後本剤散布は2週間位の間隔をあけてください。
- りんご摘花剤として使用する場合は、
  - ・第1回散布は満開期(腋芽を除く中心花および側花の7~8割が開花した日)、第2回散布は前回の3~4日後。開花が長引く場合は、第1回散布を満開2~3日後にしたり、1~2回散布を追加してください。
  - ・ミツバチ放飼園では散布前に回収してください。本剤の摘花剤としての使用には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。● 次の条件下では下記の注意を守ってください。《薬害》
  - ・高温で日照の強い時は早朝か夕刻に散布してください。
  - ・高温時や樹勢の弱い園では散布をひかえるか濃度を薄めにしてください。
- 落葉果樹に対する発芽後の散布では薬害を生じやすいので、濃度、樹勢、気象等の諸条件に注意してください。《薬害》
- 茶の摘採前50日以内の散布はさけてください。特に春季の番茶用として摘採する茶園では50日前であっても使用しないでください。《残臭による品質低下》

- 蚕に対して影響があるので、桑に使用後30日間は蚕に桑葉を給餌しないでください。
- 酸性物質(リン酸第一石灰、リン酸第一加里等の酸性肥料等)との混用・混入は絶対しないでください。《有毒な硫化水素ガス発生》
- 大理石、御影石、自動車、壁等の塗装面に掛からないようにしてください。《塗装汚染》 万一かかった場合は、すみやかに水洗いしてください。
- 強アルカリ性のため、噴霧器、その他の器具などを腐食しやすいので、作業後は使用した噴霧器、その他の器具を十分洗浄してください。

### 安全使用上の注意

- 本剤は強アルカリ性のため、取扱には十分注意してください。特に皮膚、眼などをおかしやすいので皮膚にふれないように、又、眼に入れないよう十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係ない者が散布区域に立ち入らないように縄目や立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水産動物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

- 薬剤が直接皮膚につき、そのまま放置すると炎症を起こすことがあります。直接皮膚に触れた場合は、直ちに石鹸で洗ってください。
- 散布液調整時、又散布中はマスク、不浸透性手袋、メガネ、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は顔、手足等の皮膚の露出部を石けんでよく洗い、清水で洗眼し、うがいをしてください。
- 作業時に着用した衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- 万一誤飲の際は、吐かせないで、直ちに医師の手当てを受けさせてください。使用中に異常を感じた時は直ちに医師の手当てを受けてください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗い、眼科医の手当てを受けてください。
- 空容器は散布液調整時によく洗い(洗浄液は散布液に入れる)その都度お住まいの自治体の区分に従い適切に処理してください。
- 0℃以下の場所に保存すると結晶析出の恐れがあります。万一結晶が析出した場合は、使用前に温かい室内に移動するか、所定量の水で希釈して、結晶を溶解させてから使用してください。

保管…食品と区別してください。直射日光を避け密栓し、冷暗所に保管してください。

### 適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	石灰硫黄合剤を含む農業の総使用回数
果樹類	ハダニ類、サビダニ類	80~200倍	夏期	-	-	-
		20~40倍	冬期			
落葉果樹	カイガラムシ類、ハダニ類、縮葉病、越冬病害虫	7~10倍	発芽前	-	-	散布
		腐らん病	10倍			
りんご	うどんこ病、モニリア病	40~140倍	-	-	-	-
		7倍	発芽前			
	黒星病	10倍	落葉後~発芽前			
なし	黒星病	7倍	発芽前	-	-	-
もも	縮葉病、胴枯病、黒星病	7倍	発芽前			
うめ	縮葉病	8倍	-	-	-	-
すもも・あんず	ふくろみ病	140倍	-			
すぐり	うどんこ病	80~140倍	-	-	-	-
くり	芽枯病	20~40倍	発芽前			
かき	黒星病、うどんこ病	100倍	-	-	-	-
みかん	ハダニ類、そうか病、黒点病	80~200倍	夏期			
	かいよう病	20~40倍	冬期			
	ヤノネカイガラムシ	60~80倍	-			
たらのき	胴枯病	7倍	発芽前	-	-	-
麦類	赤かび病	50~60倍	-			
		さび病、うどんこ病	40~140倍	-		
茶	ハダニ類、サビダニ類	80~200倍	夏期	-	-	-
	ハダニ類	20~200倍	冬期			
	サビダニ類	20~40倍	-			
びやくしん	赤星病	40倍	-	-	-	-
まつ	ハダニ類	20倍	新梢発生前			
桑	カイガラムシ類	7~10倍	-	-	-	-
	胴枯病	7倍	発芽前			

作物名	使用目的	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	石灰硫黄合剤を含む農業の総使用回数
りんご	摘花	100~120倍	満開後	2回	立木全面散布	-

本資料は2024年12月11日現在の登録内容に基づき作成されています。



宮内硫黄合剤株式会社  
Miyauchi Iou Gozai, Co., Ltd.

〒992-0472 山形県南陽市宮内1185-2  
TEL:0238-47-2261(代表)